

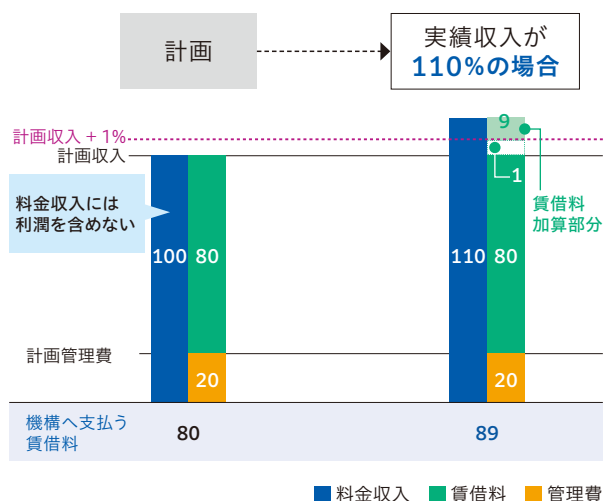
高速道路の賃借料

賃借料は高速道路機構との協定において、一定の期間で高速道路機構が債務の返済を完了するように設定されており、各年度の賃借料の額は下記により算出します。

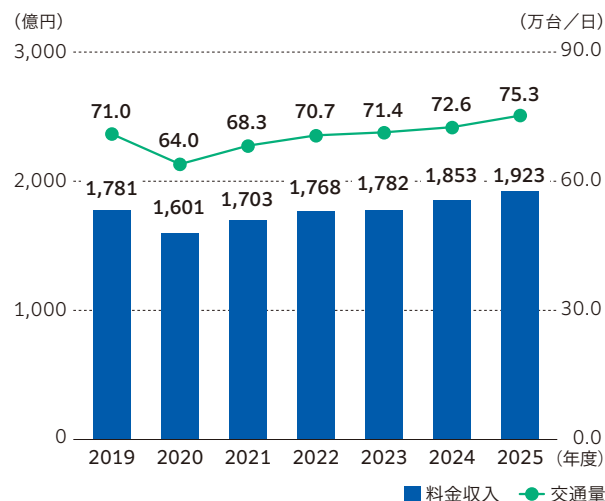
$$\text{道路資産賃借料} = \text{計画料金収入} - \text{計画管理費用} \rightarrow \text{債務返済に充当}$$

高速道路機構との協定には、計画料金収入に対して実績料金収入が±1%を超えて変動した場合に賃借料を増減する変動賃借料制度が定められており、会社の損益に与える影響を一定の範囲に抑えています。2025年度は実績料金収入が計画料金収入の101%を超えて変動したため、賃借料を加算して支払いを行いました。

〈変動賃借料の考え方〉

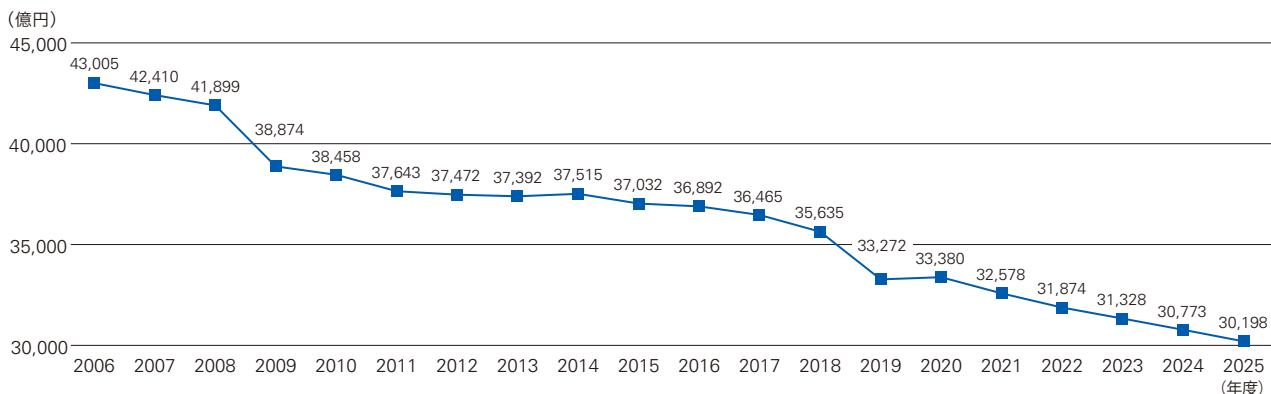


〈交通量と料金収入の推移〉



未償還残高の推移

高速道路機構を通じて着実に債務を返済しています。



注1) 阪神高速道路(株)に係る高速道路機構の未償還残高の推移。

注2) 数値は各事業年度期首時点のもの。

注3) 2018年度までは阪神圏と京都圏の残高を足し合わせたもの。2019年4月1日に京都圏が京都市および西日本高速道路(株)へ移管されたため、2019年度以降は阪神圏のみ。